

# ポロニア

ポロニアは県花「桐」の学名です

第29号

2012-12  
平成24年  
12月

発行・岩手県高等学校PTA連合会〈事務局〉盛岡市上田三丁目2-1 岩手県立盛岡第一高等学校内 TEL・FAX(019)625-6386 [E-mail] iwa\_koupren@ybb.ne.jp

## 活動の在り方や課題は

会長  
研修会

### 事例発表や意見交換

第22回会長研修会が10月19、20の両日、花巻市のホテル千秋閣で開かれました。県内各高校のPTA会長、副会長ら57人が参加。事例発表や意見交換を通してPTA活動の在り方や今後の課題、学校と家庭の連携などについて研究協議を深めました。2日目は分科会が開かれました。

初日は午後2時から研究協議が行われました。県高P連松尾正弘会長は「きょうは研究協議



PTA活動の在り方や課題について研究協議を深めた会長研修会

として雫石高校、黒沢尻北高校の2校に実践発表をしていただくことになっておりますので、宜しく願います」と挨拶。また来賓として吉田文夫花巻南高校校長（県高等学校長協会）が挨拶を述べられました。

研究協議は、岩泉高校の佐藤幸一会長を司会者に雫石高校の松尾榮一会長、黒沢尻北高校の和賀匡彦会長の2人が事例発表。これに基づいて意見交換が行われました。

雫石高校の松尾会長は「雫石高校のPTA活動について、地域に密着した活動を、生徒と共に」と題して発表。あいさつ運動や研修旅行、思郷祭(文化祭)、雪上運動会など活動状況について説明しました。「地域に開かれた高校ということで、生徒とPTAと教職員が一体となった活動を行っています」と述べました。



事例発表した雫石高校の松尾榮一会長(左)と黒沢尻北高校の和賀匡彦会長(右)

黒沢尻北高校の和賀会長は「我が黒陵とPTA」と題して発表しました。大学を見学する研修旅行、塾の先生などを講師に行う進路指導や講演会など、進学校としての取組についても紹介。「PTA活動を支える上

### 相続税について 工藤前会長講演

研究協議のあと全国高P連副会長、前県高P連会長の工藤重信氏(税理士)から相続税についての講演をいただきました。同氏は「よくわかる相続税申告と相続手続きについて」と題して説明しました。

全国で1年間で死亡する人は約120万人、このうち相続税の課税対象になる被相続人は約5万人、課税割合は4・2%。課税価格は、1兆5000億円、



講演する工藤重信氏

で最も大事なのは生徒、保護者、教職員の信頼で、信頼の上に立つて行う活動であれば、どんなものでも実を結ぶと思う」と述べました。  
これらの事例発表に対して松尾高P連会長は「雫石高校の雪上運動会は300人以上が参加するということで、すばらしいと思いました。黒沢尻北高校は、会長も黒北出身ということで学校に対する誇りが伝わってきました」。吉田花巻南高校校長は「雫石高校の活動は地域とのつながりが強く、それを大事にしていけばいいと思う。黒沢尻北高校は、活動に多くの人が参加できるように工夫しているのがいい」とそれぞれ感想を述べました。

相続申告までのスケジュールや相続税の計算例などについて説明。確定申告する時になって被相続人同士の争いが起きないように、相続に当たっての注意点についても解説しました。

# 全国大会で表彰受賞

## 夢の実現へ面接指導も

水沢工業高等学校PTA会長  
千葉 義浩



母親委員会による花壇苗植え作業

第62回全国高P連和歌山大会での団体表彰受賞は、先輩PT

Aの方々や現在の会員、そして同窓会、地域の皆様の支援の賜と深く感謝しております。

活動としては、母親委員会での花壇苗植え作業、水工祭での喫茶部門の開設、広報委員会に

おいては年2回の会報を発行しており、昨年度の東北地区高P連広報誌コンクールでは初めて最優秀賞をいただき、今年7月の東北高P連福島大会で表彰を受けました。他には朝の一声運動や研修旅行など、たくさんの方に参加していただき大いに盛り上がりつつあります。

8月の末には3年生全員を対象とした模擬面接指導が行われます。会員、先生方、経験豊富な同窓会の皆様の協力をいただき、子供たちの夢の実現に向け真剣に取り組んでいます。

## 団体表彰 通学路確保へ陳情活動

大槌高等学校PTA事務局長  
山本 貴子



登校時の交通安全指導

第62回全国高P連和歌山大会で大槌高校PTAが全国大会の団体表彰を受賞できたのは、先輩PTAの方々のご活躍、そして現在のPTAのご協力の賜と深く感謝申し上げます。

東日本大震災により甚大な被害を受けた大槌町にある本校では、通学路や通学方法の変更を余儀なくされた生徒が多数います。そのためPTAとして安全に通学できるように通学路の整備・街灯の設置やバスの運行時間の見直しなどを県や町に陳情

いたしました。

## 個人表彰 活動の成果 今後の糧に

全国高等学校PTA連合会和歌山大会で個人表彰を頂きました



大槌高等学校前PTA会長  
阿部 義正

今回の表彰は、このような活発な活動と積極的な取組が評価されたと思っております。

この受賞を機にさらに活動を活発にし充実させてまいりたいと思います。

し、改善を求める活動も行いました。

専門委員会として母親委員会交通安全委員会などがあります。が、この中の交通安全委員会では、主に登校時の交通安全指導を行っています。また、学校周辺の危険箇所へのぼりを設置し、登下校時の事故を防止する活動も行われています。

今回の受賞を今後のPTA活動の発展に生かしていきたいと考えています。ありがとうございます。

## 進路指導について事例発表

このたび「和をもって響きあえい」をメインテーマに開催された和歌山大会に参加させていただきました。全国から1万人を超えるPTA役員や教職員の皆さんが一同に会して各学校の活動事例や成果を発表し、真剣に研究協議に取り組む姿勢に心から感銘を受けた次第です。

遠野高校PTAは、第二分科



遠野高等学校PTA会長  
角田 直樹

は避難所となり多くの方々が避難してきました。そういう方々を先生方と生徒たちが一体となり献身的にお世話しました。この行動が町内外から高く評価されたことは、PTA全体としてのうれしさのひとつでした。

振り返ってみますと、長男の入学と同時に会長職をひき受けました。高校のPTA活動とはどのようなことをするのかよく分からずにスタートしました。忘れられないのが昨年の東日本大震災です。震災後大槌高校

会において群馬県、石川県、高知県の各高校の皆さんと並び「進路指導とPTA」というテーマで活動事例の紹介をさせていただきました。発表の主旨は、PTAが主催し平成18年から続けている鍋城祭(文化祭)の開

会に合わせて行うコンサートや講演会についてです。進学校を



県内61校から225人が参加した母親会員交流会

## 母親会員が交流会

### 「連第12回母親会員交流会」

事例発表した永田淳子さん(右)、多田玲子さん(中)と竹田美由紀さん(左)



# 2人が活動事例を発表

## 情報・意見交換や講演も

第12回母親会員交流会が7月11日、盛岡市のホテルルイズで開かれました。県内61校から会員ら225人が参加、2校による活動事例の発表や情報・意見交換が行われました。

松尾正弘会長は「こういう機会というのには、参加してみないと、なかなか実感として分からないところがあると思います。午前中の講演、午後の全体協議で交流を深めていただきたい」と挨拶。母親委員長の作山光子さんも挨拶を述べられました。また、来賓の西村文彦県教育委員会生涯学習文化課総括課長から祝辞をいただきました。全体協議(活動事例報告)は午後1時05分から行われ、母親委員会副委員長の近藤奈美さんを司会者に花巻農業高等学校母親委員長の高田玲子さん、同委員

#### 事例発表者

- 多田 玲子さん  
(花巻農業高等学校母親委員長)
- 竹田 美由紀さん  
(花巻農業高等学校母親委員)
- 永田 淳子さん  
(宮古高等学校前母親委員長)



挨拶する作山光子県高P連母親委員長

員の竹田美由紀さん、宮古高等学校前母親委員長の永田淳子さんが、活動事例を発表しました。花巻農業高校は先生の指導で花の寄せ植えの講習やりんごの収穫体験など、農業高校ならではの特色ある活動事例を発表。「子どもたちの生き生きとした表情や活動は、励みになりました」と感想を述べました。

宮古高校は、平成17年度から母親委員を増やしたことで活動が活発になり、平成18年度に初めて宮高祭(文化祭)でバザーを実施。昨年度は約11万5000円の収益があり、10万円は学校に寄付したという。永田さんは「震災で町も家も流され、まだ遺体が見つからない人もいますが、子どもたちには未来がありますので、最後まで頑張っていきたい」と決意を語りました。全体協議の前に行われた講演会では、漫画家のそのだつくしさんから「わたしの生きざま」と題して講演をいただきました。

### おらほのPTA

## 人気の紫鷲祭 圧巻は餅まき

岩手県立紫波総合高等学校 PTA会長 福田 國幸



紫鷲祭での餅まき

「はじめまして」2年前に創立80周年を迎えた紫波総合高校のPTAです。紫波総合高校は、紫波中央駅近くにあることから、近隣の市や町からも多くの生徒が通う高校です。「人文・自然系列」「福祉・健康系列」「ライフデザイン系列」「情報・経済系列」「エコロジー・フード系列」の5系列があり、生徒のニーズに応えられるようになっていきます。校舎に入ると生徒たちから進んで挨拶をしてくれる良い雰囲気があります。バザーには、卒業した母親委員の方も駆けつけてくれ、「絆」の強さを感じました。圧巻は郷土芸能部の船久保さんさ踊り直後に行われた「餅まき」。おそろいの半纏を着て2階からの餅まきは見事でした。餅をまく側ひろう側が楽しみを共有できた時間でした。企画から準備・段取りまでご苦労された委員の皆さん、お疲れ様でした。来年度の紫鷲祭への皆さんのお越しをお待ちしています。



大船渡東高等学校前PTA会長  
新 沼 衛

# 東北地区高P連 福島大会

## 全国大会に 参加し感激

大船渡東高校PTA会長を2年間務めさせていただきましたが、その間、高P連副会長、進路対策委員長を経験させていただき、身にも余る光栄であり、微力ながら貢献できたと思っております。今更には盛岡市および秋田県での会議にはPTA会員でもある妻に同行してもらい一番

喜んでくれました。さて、活動振り返ってみますと、どうしても昨年の「東日本大震災」になってしまいました。自分自身被災者であり、また消防後援会長という立場で、何も語れなくなってしまう時間だけが過ぎ去り喪失感が残りまじった。昨年8月に『いのち輝け！』人・夢・愛・ひたむきにがんばる君たちを応援したい』をテーマに北海道札幌市で開催された全国大会に参加することができました。自分自身勇気ももらい、その感激を東高PTA会報にて会員に報告できたことが一番うれしく思われます。

PTA活動を通して、人と人のつながりが全てと再認識いたしました。「おかげさまで」の気持ちで大事に少しでも地域の

ため励んでまいりたいと思っております。ありがとうございました。



遠野高等学校前PTA会長  
萩 野 幸 弘

## 印象に残る 60周年式典

平成24年7月13日に福島市の「パルセいいざか」で開催された第61回東北地区高等学校PTA連合会福島大会において、私こと身に余る表彰状を頂くことができました。これもひとえにPTA活動を通じて知り合ったたくさんの皆様の支えによるものと、この場を借りて衷心より御礼申し上げます。7年前に高校PTA会員の仲間入りをして以来、学年委員長、副会長を経て3年目に会長拝命と同時に県高P連出向の機会を

活動の中では一昨年度に盛岡で開催された県高P連60周年式典と東北高P連岩手大会が強く印象に残っています。会長、事務局長も2代にわたりお付き合いさせていただき、毎年県内各地から集まる役員の皆様方と充実した交流ができましたことは、私にとって今もこの上ない財産です。現役会員の皆さんにおかれましては、来る平成27年に岩手で

開催される全国大会に向け、一層の団結と飛躍あらんことを期待しています。その輪の中に入れないのは少々残念ですが、こ

れからも引き続き岩手っ子の健やかな成長を陰ながら見守っていきたいと思います。

### 表彰を受けて

平成24年7月13日に福島市の「パルセいいざか」で開催された第61回東北地区高等学校PTA連合会福島大会において、私こと身に余る表彰状を頂くことができました。これもひとえにPTA活動を通じて知り合ったたくさんの皆様の支えによるものと、この場を借りて衷心より御礼申し上げます。7年前に高校PTA会員の仲間入りをして以来、学年委員長、副会長を経て3年目に会長拝命と同時に県高P連出向の機会を

### 感謝状を受けて

7月13日、東北大会福島大会にて表彰受賞予定でしたが、どうしても参加できずとも残念でした。大船渡東高校PTA会長を2年間務めさせていただきましたが、その間、高P連副会長、進路対策委員長を経験させていただき、身にも余る光栄であり、微力ながら貢献できたと思っております。今更には盛岡市および秋田県での会議にはPTA会員でもある妻に同行してもらい一番

喜んでくれました。さて、活動振り返ってみますと、どうしても昨年の「東日本大震災」になってしまいました。自分自身被災者であり、また消防後援会長という立場で、何も語れなくなってしまう時間だけが過ぎ去り喪失感が残りまじった。昨年8月に『いのち輝け！』人・夢・愛・ひたむきにがんばる君たちを応援したい』をテーマに北海道札幌市で開催された全国大会に参加することができました。自分自身勇気ももらい、その感激を東高PTA会報にて会員に報告できたことが一番うれしく思われます。

PTA活動を通して、人と人のつながりが全てと再認識いたしました。「おかげさまで」の気持ちで大事に少しでも地域の

ため励んでまいりたいと思っております。ありがとうございました。

## 各校の活動 大いに参考



大船渡東高等学校PTA会長  
新 沼 英 明

7月12日から13日まで、第61回東北地区高等学校PTA連合会福島大会がパルセいいざかに開催されました。

発表前日、持ち時間の関係で、完璧と思われていた原稿を、大幅に編集削除せざるを得ませんでした。途方に暮れていたところ、福島工業高校の先生の好意で学校のパソコンを貸していただき、なんとか本番に間に合わせる事ができました。

### 活動事例発表して

の編集など、全て先生に作成していただきました。震災対応や、義援金の御礼など盛りだくさんの内容で、与えられた短い時間の中で、会場の皆さんにしっかりと伝えられたか不安なところでも、発表前日、持ち時間の関係で、完璧と思われていた原稿を、大幅に編集削除せざるを得ませんでした。途方に暮れていたところ、福島工業高校の先生の好意で学校のパソコンを貸していただき、なんとか本番に間に合わせる事ができました。



# 優良PTA文部科学大臣賞を受賞

## 教育への「情熱」に感謝

去る11月13日文部科学省において、全国33校の受賞校とともに優良PTA文部科学大臣賞を受賞してまいりました。

本校は岩手県3番目の県立中



会員向け会報の編集作業

福岡高等学校PTA会長

岩崎 敬郎

等学校を前身として、本年11周年を迎えました。岩手の県北の地に、当時地方としての高等教育と言われた中等学校を設立したことは、幕藩時代から地域の教育への意識の高さを表したものであると思います。同窓会はもちろんのこと保護者・教職員・市民の皆さんの学校に対する情熱は何物にも代えがたいものであり感謝するものです。今回の受賞は創立以来、これまで本校および生徒の発展に携わって頂いた全ての皆様のご苦勞の賜と感謝を申し上げます。

### がんばろう岩手 第4回

花巻農業高等学校

PTA会長 佐藤 道輝

本校PTAでは毎年6月上旬に「花いっぱい運動」を実施しています。昨年は震災があったことから、PTA環境整備委員会の企画により「内陸も心を一つに応援しています」との復興

への願いを込めて、プランター60個を大槌町内の高校や小中学校に届けました。

今年度は農業クラブの生徒らが「花巻から応援しています」「復興がんばりましょう」「岩手魂」など、直筆の激励メッセージを書き込んだシールを貼ったプランター30個を、大槌町の仮設住宅の集会所などに届けました(写真)。

本校のPTA活動の一番の特色として、各委員長を中心として会員各自が積極的に取り組み、教職員の手を煩わすことなく事業を展開することにあります。

特に、会員向けの会報は取材・写真撮影・レイアウト・校正など全て会員の手で行われるというユニークなものとなっています。学校長はじめPTA会員などに川柳を投稿させたりと興味をひく紙面に仕立て上げています。

また、総会・学年PTAにおいては出席率が非常に高く活発な質疑が取り交わされています。

これらは会員のPTAに対する意識の高さの表れであると思っております。

今回の受賞を機にさらなる発展に尽くしていきたいと思っております。

PTA 会員や生徒らは、「花」で心をいやおうと早期復興への思いを募らせています。



### おらほのPTA

#### 生徒との信頼関係を大事に

岩手県立黒沢尻北高等学校 PTA会長 和賀 匡彦



私たちの黒沢尻北高校は県内5番目の旧制中学として大正13年に創立し、平成26年度には90周年を迎える、文武両道を目指す進学校です。

主なPTA活動としては、会報の発行、研修旅行の実施、講演会や研修会(進路講演会)の開催などですが、他校のような特徴のある特別な活動は特に行っていません。その理由として考えられるのは、一つ目に「創立以来の自主独立の校風」が挙げられます。生徒たちは少なからず気概を

持つて入学してきており、文武両道を目指して心身を鍛え、自立を目指しています。二つ目に、教職員の熱意が挙げられます。授業や課外、クラブ活動から生活規範まで、熱心に、厳しい中にも優しく指導にあたり、私たち保護者以上に愛情をもって接してくれています。三つ目は、それに応える素直な心を持った生徒たちだということです。



母親委員会のスイーツデコ

教職員、保護者、生徒の三者が共通の目標のもと、互いに信頼しあってそれぞれの領域でやるべきことに専心し結びつきを生み出しています。ですから、例えばPTA総会は平日実施にもかかわらず308名(41%)の保護者が参加をしました。3学年PTAに至っては244名、実に91%と驚異的な参加率を誇っています。今後も生徒の自己実現のために信頼関係を大事にし、活動していきたいと思っております。

# 教育力充実 などで発表

事務局 局長 会  
事務 研修

平成24年度岩手県高等学校PTA連合会第42回事務局長研修会は、11月9日、盛岡市のホテルルイズを会場に、県内63校からPTA事務局長や事務局員が参加して行われた。

メインテーマ「変革の時代、心豊かにたくましく生きる高校生の育成を目指して」

## ① 雫石高校

(発表・小野寺真由美事務局長)  
テーマ「家庭や地域の教育力の充実を支援するPTA活動はどうあればよいか」  
特色のある活動のひとつとして、環境緑化活動を行っている。



ホテルルイズで開かれた事務局局長研修会

土曜日を授業日としてPTA、教師、生徒で環境緑化活動を行っている。

また雫石町教育振興運動と連携して春と秋、挨拶運動、交通安全指導などを行っている。衣替えの時期の一週間はPTA、生徒会執行部、町教育委員会の方々で活動している。夏休みは親子合同奉仕活動ということ、地区ごとに奉仕活動をしている。

雫石町は教育振興運動のメインとして、親子と読書の振興を掲げている。雫石町親子読書の集いという行事では、高校生は読み聞かせの役割をはたしている。24年度はPTAと協議してテレビ視聴の削減を重点に考えた。1日にどれだけテレビ、ゲーム、パソコンを消して本を読んだか、実体を把握中である。

## ② 花巻農業高校

(発表・小田島一晃事務局長)  
テーマ「高校生の自己実現を支援するPTA活動はどうあればよいか」

健全育成委員会では花巻市青少年育成市民会議挨拶運動に参加、花巻空港駅、本校の朝の挨拶運動に参加、10月から7回実施。環境整備委員は15年以上も続いていたPTA行事である。「花いっぱい運動への参加」360個のプランターにペコニア等の苗を植え付け、市内の20カ

所以上に配る。会員参加者29名、大槌高校、吉里吉里中学校、小学校へもプランター60個を設置。ここでは参加希望者が多く、被災地の状況を初めて目にした人もあり、先方のPTA役員の方とも言葉を交わし、印象深いものになった。この活動は地域から感謝状をいただいている。研修広報委員会は、参加者が少ないため23年度は講演会と懇親会を企画した。

母親委員会では花巻農業高校の特色を生かし、リンゴの摘み取り、ソーセージやジャムの即売会を実施している。

## ③ 一関第一高校

(発表・鈴木淳一事務局長)  
テーマ「中高一貫校のPTAのあり方」

創立114年になる。1学年6クラス全校で713名である。今年度初めて中高一貫の中学生の附属中学校の一期生が高校の方に入学してきた。定員男子40、女子40の80名である。中高一貫となり成果と課題がある。学習面は5分7コマで中学校も同じである。行事については体育祭と合唱コンクール、

### 表彰・感謝状受賞者

◆優良PTA文部科学大臣表彰  
福岡高等学校PTA

◆全国高P連和歌山大会会長表彰  
個人表彰  
大槌高等学校 阿部義正

◆団体表彰  
水沢工業高等学校PTA  
大槌高等学校PTA

◆東北地区高P連福島大会表彰  
感謝状  
大船渡高等学校 新沼 衛  
久慈工業高等学校 十門地勝

◆表彰状  
黒沢汎北高等学校 三宅 靖  
遠野高等学校 萩野 幸弘  
大船渡高等学校 熊谷 孝嘉

文化祭は合同である。クラスマッチについては別々の体育館で実施。課題は教員数の不足である。高校の定期考査と中学校の試験の時期が違う。高校の教員が考査前でも中学校の面倒をみなければならぬといった大変なところもある。PTA総会は今年度は土曜日に実施し、午前中は附属中学校の総会、午後は高校の総会となった。附属中学校開設後、PTA活動は中高独自で行っている。

◆講演「岩手の活力」は発見力と発信力で決まる！  
講師 えふえむ花巻放送局長 落合 昭彦 氏

地方放送の果たす役割や長年の取材の中から感じた岩手の様々な財産や魅力、岩手の子どもたちの可能性について話されました。  
(記録/久慈東高 熊谷一文)

### 請求なければ支払いなし

#### (社)全高P連賠償責任補償制度

PTA(学校)単位で加入する制度で制度発足以来11年目となりました。

#### 〈加入状況〉

全国	1,786校	1,046,204人
岩手県	68校	30,609人

#### 〈事故の際は〉

全高P連賠償責任補償制度事故受付電話  
0120-119-110

#### 県高P連高校生総合保障制度

#### 〈加入状況〉

Aプラン(病氣補償あり)	62校	1,739人
Bプラン(病氣補償なし)	60校	749人
Cプラン(自転車重点型)	62校	1,671人

#### 〈引受保険会社〉

●AIU保険会社盛岡支店

TEL 019(653)1411 FAX 019(623)3541



調査広報  
進路対策

# 委員会活動報告

健全育成  
母親

## 進路対策



委員長  
松尾 榮一  
(雫石高校会長)

進路対策委員会は紫波総合(副委員長)、黒沢尻工業、一関第二、沼宮内の各委員で構成されています。6月22日に第1回委員会を開催し、卒業生の雇用促進の陳情、進路啓発リーフレットの作成を行うこと等について協議し、本年度の活動方針としました。

毎年行っている雇用促進に関する陳情訪問は、松尾高P連会長、高橋事務局長、本校小野寺事務局長と私の4人で、岩手労働局をはじめ、岩手県商工会議所連合会等の8団体へ伺いました。各団体に求人傾向を確認するとともに、新卒者募集枠の拡大と、早期に求人募集を出して頂くよう陳情してきました。大震災からの復興需要で求人数は増加傾向にあるものの、業種のアシマツチングや地域の偏りなどまだまだ厳しい状況にあります。

7月26日の第2回委員会では経過報告と情報交換の後、リーフレット原稿の作成を行いました。リーフレットは冬休み前の配布を予定しています。

高校を終わる時、子供たちは否応なしに進学・就職という人生の岐路に立たされます。その時に私たちが進路選択の経験者として子供にアドバイスできるよう日ごろから子供と会話し、将来何をしたのか子供の意思を理解することが必要と思います。

## 健全育成



委員長  
高屋敷 久人  
(久慈東高校会長)

今年度の健全育成委員会は久慈東、久慈、盛岡農業、遠野緑峰と宮古水産高校の各委員の構成で、委員長は久慈東高校PTA会長、副委員長は久慈高校PTA会長が務めることとなり、今年度の活動がスタート致しました。

今年度の活動内容については、第1回健全育成委員会が6月22日に開催され、昨年度の引き継ぎ事項の確認と東北地区第1回健全育成委員会6月14日に開催の報告など、意見交換を行いました。

そういった中で、今年度の活動は昨年度と同様「登校時一声運動・マナーアップ運動」に取り組むことにしました。実施期間は、7月から10月までの中で、各校が弾力的にできるようにしました。実施状況を見ると、子供、保護者、教師とのコミュニケーションが幾分取れてきたような感じを受けています。今後の活動としては、変化の激しい現代社会を生き抜いていく子供たちに、どのようにして人間力の向上と生きる力の育成を図っていくか考えながら活動を進めていくことになると思います。

最後となりますが、全県的に地域全体の教育力の向上につなげる活動ができれば良いと思いますので、皆様方のご協力をお願いしたいと思います。

## 調査広報



委員長  
和賀 匡彦  
(黒沢尻北高校会長)

水沢工業高校の広報紙が、昨年度の東北高P連広報コンクールにおいて最優秀賞を受賞しました。思わず手にとってみたくなる構成・デザインからなり、内容も生徒が生き生きと活動している学校の様子が手に取るようにわかる記事や、親子の深い絆にホロッとさせられる記事もあふれても素晴らしいものでした。水沢工業高校のHPに掲載されていますので、皆様も是非ご覧下さい。(受賞号は第117号)

さて、当委員会では今年度も広報コンクールを開催予定ですが、今現在(11月末)20校からご応募いただいています。まだ、応募されていない学校も是非応募されるようお願いいたします。苦勞されて作った広報紙も、手にとって見てもらわなければ意味がありません。学校のことに全く興味が無いという保護者はいないと思いますが、忙しい毎日の中にあると、じっくりと広報紙を読む機会もなかなかないものです。いかに手にとってもらう広報紙を作るかがポイントになります。

ご応募いただいた広報紙の審査はもろろですが、今年度は広報紙作りに苦勞されている各校編集委員の皆様にも、広報誌作りのポイントとなるようなものを、何らかの形で還元していきたいと考えています。

## 母親



委員長  
作山 光子  
(盛岡第四高校母親委員長)

7月11日に225名参加の下「つなげようみんなの心」をスローガンに、テーマを「未来を担う子どもたちの幸せを願い今できること」とし、第12回母親会員交流会を開催致しました。

漫画家のそのだつくし先生より「わたしの生きざま」という演題で講演を頂き、仕事と子育て、また被災地での支援活動、地域活動と、バイタリティーあふれる生活に多くの学ぶべきことがあります。全体協議に入り、母親委員会の活動が報告されました。花巻農業高校では、農業高校の特色を生かし学校の先生を講師にパン作り、花の寄せ植えなどを学べる機会を設けていることが特徴的でした。宮古高校では、震災後の厳しい状況の中でも前向きに取り組む、子どもたちに温かく関わっている様子が報告されました。

10月27日には秋田県母親交流会に参加しました。秋田県警少年課の方から、青少年を取り巻く問題・実態についての講演会が行われ、続いてグループ討議がなされました。携帯電話、ネット関連の話題など、活発な意見交換が行われ子育てへの関心の高さに感服致しました。今後も母親委員会の活動が有意義なものになるよう力を結集してまいります。

### おらほのPTA

## 地域の教育力 向上を目指す

岩手県立久慈東高等学校  
PTA会長 高屋敷久人



本校は、平成16年に久慈農林高校、久慈水産高校、久慈商業高校、三校が統合しそれぞれが持っていた個性、特徴を生かしつつ、従来の学科制から総合学科制(7つの系列と11の科目群の構成)の、「岩手県立久慈東高校」となりました。

PTA活動は、総会から始まり、6月からは広報、母親、健全育成、研修のそれぞれの委員会活動が始まり、広報委員会では年2回の広報、母親委員会では、各種研修会に参



「ぎんなんホール」でのPTA総会

加、研修委員会では年1回の研修旅行の企画を行っています。

本校の文化祭「東高祭」でのPTAバザーの出店をはじめ、登校時のあいさつ運動など、本年度は、PTA役員だけでなく、協力をいただける保護者を募り実施しています。

本校は、11の科目群から構成されていることから進学と就職の両方の進路選択ができます。

PTA活動の原点は、我が子のために、学校の教育方針や考え方を保護者も十分に理解し、教師と保護者が協力し、学校教育の充実はもとより、家庭教育の充実、地域における豊かな体験活動等の機会の充実など、地域全体の教育力の向上に久慈東高校PTAは努めていきたいと考えています。

### おらほのPTA

## バザーや夜市 で交流深める

岩手県立一関清明支援学校  
PTA会長 山田 雅宏



一関清明支援学校は、平成20年4月に一関聾学校と一関養護学校が統合してできた、今年度で5年目になるまだ新しい学校です。平成21年度には千厩中学校内に千厩分教室

が開設されました。さらに、平成24年2月に本校舎が赤荻地区の新校舎に移転し、この4月には落成式が行われました。

本校は、2校舎3分教室に分かれ、また、聴覚障がい、病弱、肢体不自由、知的障がいの四障がいに対応する学校

です。現在130名の幼児児童生徒が在籍していますが、一人ひとりの子どもが、毎日生き生きと過ごしています。

日々の授業はもちろんのこと、運動会や清明祭などの行事では、子どもたちの頑張る姿が私たち保護者に大きな感動を与えてくれています。

今年度の清明祭では、子どもたちの頑張りに応えるかのように、PTAとしても、初めてのバザーを開催することができました。この利益は、復興教育に充てていく予定です。

また、千厩分教室PTAでは、「千厩夜市」に親子で出店して、地元との交流を深めるなどの活動も行っています。今後も、子どもたちの成長を楽しみに、手を取り合ってPTA活動を進めていきたいと考えています。



山目校舎環境整備活動で花壇などの草取りをする父母の皆さん

### 編集後記

12月になると一年の世相を漢字一字で表す「今年の漢字」が発表されます。昨年度の漢字は「絆」でした。その選定理由として「東日本大震災で、あらためて家族・友達・恋人・地域の人々との「絆」の大切さを知り、希薄になっていっていると言われた人間関係に気づきつづきつづけた」とありました。さて、今年もその絆が続いているでしょうか。被災地のガレキの受け入れをめぐって全国各地で反対運動が起こっています。ある県の反対署名運動には「多くの税金を使ってガレキを拡散させ、日本中を被爆させることが復興への最良の方法なのでしょか?被災地からの安全な避難場所であり続けること、安全な食料を生産し、東日本に供給することこそが真の支援ではないでしょうか」とありました。これを読んだだけでウーンだと感じるのは私だけでしょうか。▼失関諸島という「領土」をめぐる日中関係のニュースが毎日報道されています。しかし、その何百倍の面積をもつ「国土」を福島原発事故で私たちは失いました。それでも原発の再稼働を国は進めようとしています。12月にはこれからの日本の将来を託すリーダーも「今年の漢字」も決まっています。ということで。しかし、私は31以降、ずっと「憶」の一字に尽きます。忘れてたまるか。

(調査広報委員長 和賀匡彦)

(編集委員) 調査広報委員会

- 委員長 和賀 匡彦(黒沢尻北)
- 副委員長 佐藤 道輝(花巻農業)
- 委員 田中 眞理(盛岡第二)
- 紺野 啓(水沢農業)
- 新沼 英明(大船渡東)

(事務局)

- 高橋 利幸(黒沢尻北)
- 高橋 秀幸(黒高P連)
- 木村 智子(黒高P連)